

令和4年9月14日

川西市議会議長

久保 義孝 様

厚生文教常任委員長

岡 留 美

委員会報告書

本委員会に付託の事件は、審査の結果、別紙のとおり決定したので、会議規則第101条の規定により報告します。

厚生文教常任委員会における審査の経過と結果について（審査日：令和4年9月2日）

1. 議案第65号 川西市給食事業安定化基金条例の制定について

議案の概要

本案は、食材料費の高騰等に備え、必要な食材料の確実な調達と給食事業の安定的な運営を図ることを目的とし、川西市給食事業安定化基金を設置するため、新たに条例を制定しようとするもの。

質疑の概要

問 今回設置しようとする基金では、保護者が給食費として納める材料費の余剰分を積み立て、給食費が不足する場合には取り崩して材料費に充当するとのことだが、今後も見込まれる物価の高騰による食材料費の増加に対しては、基金を取り崩すことで対応し、保護者が納める給食費の増額は無いという認識でよいか。また、これまでの余剰金の取り扱いについても伺いたい。

答 物価の高騰に対しては、国の財源の活用等も考えて対応していくが、この上昇傾向が数年にわたって続くといった場合には、給食費の見直しも検討する必要があると考えている。

また、これまでの余剰金の取り扱いについては、学校給食会として私会計で管理を行い、繰越金として翌年度の歳入に充当するという運用を行ってきたが、公会計化に伴って学校給食会を廃止したため、今回、その余剰金を今後の給食事業の安定化に活用していこうとするものである。

特記事項 なし

審査結果 原案可決（全員賛成）

2. 議案第66号 川西市立幼稚園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案の概要

本案は、令和4年度末をもって川西市立清和台幼稚園を廃止するに当たり、条例の一部を改正しようとするもの。

質疑の概要

問 令和3年2月に開催された地域意見交換会では、令和5年4月の入園を受け入れる旨の説明があったと認識しているが、このたび、急遽令和4年度末で廃園という方針が定められたことによって、影響を受ける在園児及び入園を予定していた児童の保護者との協議の進捗状況について伺いたい。

答 このたびの廃園の方針決定を受け、本年秋に行う見込みであった令和5年4月入園の募集は見合わせる予定であり、入園を考えておられた児童への支援として、さきの7月臨時会で可決いただいたこども園への通園支援に要する費用について、9月以降の執行を見込んでいたが、さまざまな形で話題になっていることもあり、現在のところ執行の見通しは立っていない。

また、現在4歳児として園児が在籍している保護者には、機会を捉まえて市の考えを説明しながら、転園などの今後の対応を協議させていただいているものの、清和台幼稚園を卒園したいとのご希望もあり、廃園そのものにご了解をいただけていない状況である。しかしながら、市としては、子供の成長のためには集団教育を維持していく必要があるとの考えであるため、今後も引き続き丁寧にご説明をさせていただき、双方ともに納得でき、かつお子さんの将来にとってよりよい方向性について探していきたい。

問 仮に廃園せず、在園する4歳児が卒園するまで運営を続けようとする場合、1年間にかかるランニングコストについて伺いたい。

答 1年間運営すると想定した場合、令和3年度決算等を参考にした見込みでは、人件費や光熱費等でおよそ3000万円程度必要になると考えている。

問 令和2年12月に地域住民より市長に対し、清和台幼稚園の存続、充実を求める5000筆以上の署名が提出されており、また、本年8月に行われた住民説明会においても、今回の廃園の進め方などについて、さまざまな意見が出されていたと認識しているが、そうした地域住民の声や要望等について、どのように受けとめられているのか伺いたい。

答 市民の皆様から頂いたご意見については非常に重く受けとめており、清和台地区において、子ども・子育て施策にしっかりと取り組んでいくことは大切なことであると考え、ご指摘のあった事柄も踏まえて検討してきたところである。

しかしながら、例えば、幼稚園における3歳児保育については、既に同地区において需要が満たされている中で、市が新たに投資して実施していくことは難しい状況であると考え。また、このまま同園を継続していくとした場合、集団教育・保育の実施は難しく、子供への影響や園を維持するコストなども勘案し、非常に厳しい決断ではあるが、今年度末をもって廃園という方針を定めたところである。

問 仮に清和台幼稚園が廃園になれば、7中学校区のうち3中学校区が公立園の空白地域になるが、市民生活に密着した福祉的な支援がしやすいといった観点からも、施設

を充実させてさまざまな市民ニーズに応えていくことが、あるべき姿であると考えているが、市の考えを伺いたい。

答 清和台幼稚園の園児数を増やすためには、3歳児保育の実施や給食の提供といったことが考えられるが、全市的あるいは清和台地域の幼稚園の供給が過剰な状態となっている状況である。

また、公立園、私立園のいずれにおいても、幼児教育保育については国が定める幼稚園教育要領等に基づき提供されるものであることから、市全体として公立・私立がお互いに連携を図りながら、質の高いサービスを提供していくよう取り組んでいくべきものと考えている。

特記事項

議案質疑資料あり（1. 廃園に至る検討と経過の詳細について ほか）

審査結果 継続審査（賛成多数）

3. 議案第68号 令和4年度川西市一般会計補正予算（第4回）

議案の概要

第1表 歳出第3款民生費のうち第1項社会福祉費第3目総合センター費を除く全部。
第4款衛生費のうち第1項保健衛生費。第10款教育費。

質疑の概要

(1) 第1表 歳出

① 第3款 民生費

問 新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的とした老人福祉施設個室化改修工事費補助に要する費用として、老人福祉施設支援事業において、地域介護拠点整備事業補助金として8801万1000円が追加されているが、現在市内にある9カ所の特別養護老人ホームのうち、今回の補助対象予定施設が1カ所となっている理由と、1床当たりの補助基準額や工事のスケジュール等の詳細について伺いたい。

答 今回の改修に当たっては、対象となる市内全施設に対して事前に意向確認を行い、その中で改修の意向があった施設に対してヒアリングを行ったところ、必要性があると認められたため施設に補助しようとするもので、補助基準額は1床当たり97万8000円である。

工事については、本補正予算案が可決された後に、整備される施設において入札等の手続を経た上で、年度内の完了を目指して実施していただく予定である。

② 第4款 衛生費

質疑なし

③ 第10款 教育費 質疑なし
特記事項 議案質疑資料あり（2. 老人福祉施設個室化改修工事費補助（8800万円）の詳細について ほか）
審査結果 原案可決（全員賛成）

4. 議案第69号 令和4年度川西市介護保険事業特別会計補正予算（第1回）

議案の概要 本案は、介護保険制度改正に伴うシステム改修に要する費用や国庫負担金等の前年度精算に係る費用の追加により、歳入歳出予算にそれぞれ1億578万9000円を追加し、予算額を147億7847万9000円にしようとするもの。
質疑の概要 なし
特記事項 なし
審査結果 原案可決（全員賛成）

5. 請願第11号 清和台幼稚園を「こども園化」して存続させることを請願する

請願の趣旨 今年度、清和台幼稚園は複式学級で運営されているが、きめ細やかな保育・教育環境が保護者や地域から評価されており、集団保育をできる環境ではなくなったことなどを理由に廃園することは時期尚早である。 清和台幼稚園の園児の減少は、私立が行ってきた3歳以下の保育や給食、通園バスの整備などを市が行ってこなかったことが大きな要因であることから、こども園化し、保護者からの需要が高い給食、3年保育を実施すれば集団教育ができる環境が必ず整うと考える。 教育・保育の内容や環境、経費面において、若い保護者世代には根強い公立需要があり、また、公立園はセーフティネットの機能を有し、私立のみで公立の代替、補完はできない。 そこで、清和台幼稚園で給食、3年保育、預かり保育の拡充等を行い、「清和台こども園」として、地域唯一の公立園を持続可能な形で残すことを求める。
特記事項 請願者の発言申出による趣旨説明あり
審査結果 継続審査（賛成多数）